

# ここからはじめる！ 薬剤師が解決するポリファーマシー

症例から学ぶ、処方適正化のための介入のABC

目次

序 ..... 平井みどり

第1章

## 多剤併用の問題点と 減薬・減量の基本的考え方

秋下雅弘 10

第2章

## 高齢者で注意したい薬剤

- Case 1 術後せん妄と薬剤 ..... 木村丈司, 西岡達也 22
- .....ベンゾジアゼピン系薬剤の減量・中止
  - .....せん妄を引き起こす薬剤
- Case 2 投薬禁忌 ..... 宇田篤史, 西岡達也 30
- Case 3 複数病院受診による同系統薬剤の重複 ..... 木村丈司, 西岡達也 34
- Case 4 第1世代抗ヒスタミン薬の変更 ..... 木村丈司, 西岡達也 39
- Case 5 認知症患者に対する抗コリン薬投与 ..... 木村丈司, 西岡達也 43
- .....高齢者で注意すべき抗コリン薬

第3章

## 相互作用から考える

- Case 1 投薬禁忌（重症筋無力症） ..... 宇田篤史, 西岡達也 50

Case 2	投薬禁忌 (尿閉)	宇田篤史, 西岡達也	53
Case 3	併用禁忌 (QT延長)	宇田篤史, 西岡達也	56
	----- QT延長とは?		
Case 4	リファンピシム併用による プレドニゾロンの血中濃度低下	木村丈司, 西岡達也	62
Case 5	ブロムペリドールとメトクロプラミドの 相互作用	木村丈司, 西岡達也	68
	----- SIADHとは?		

## 第4章

## 患者さんの症状や効果から考える

Case 1	複数診療科併診による多剤併用	宇田篤史, 西岡達也	76
Case 2	感染症にて入院した糖尿病患者の薬剤調整	木村丈司, 西岡達也	81
	----- SGLT2阻害薬の副作用		
Case 3	投与期間の上限超過	宇田篤史, 西岡達也	86
Case 4	抗凝固薬の投与基準の逸脱	宇田篤史, 西岡達也	90
	----- 静脈血栓塞栓症の危険因子		
Case 5	末梢静脈からのKCL投与 (濃度超過)	宇田篤史, 西岡達也	95
Case 6	症状消失後の継続投与の必要性	宇田篤史, 西岡達也	101
Case 7	合併症のない消化性潰瘍や食道炎に対する PPIの長期投与	木村丈司, 西岡達也	105
Case 8	透析患者に対する薬剤調節	木村丈司, 西岡達也	108
	----- CKD-MBDについて		
Case 9	症状改善のための継続投与に対する介入	木村丈司, 西岡達也	115

Case10	睡眠薬によるもち越し効果	宇田篤史, 西岡達也	119
	----- 睡眠薬の分類		

Case11	透析患者におけるリン吸収抑制薬の必要性	宇田篤史, 西岡達也	126
--------	---------------------	------------	-----

## 第5章 検査値を活かす

Case 1	肝障害による薬剤調整	宇田篤史, 西岡達也	132
	----- 薬剤による乳酸アシドーシス		

Case 2	活性型ビタミンD投与による 高カルシウム血症	宇田篤史, 西岡達也	137
--------	---------------------------	------------	-----

Case 3	フェニトイン中毒が疑われた症例	宇田篤史, 西岡達也	140
--------	-----------------	------------	-----

Case 4	腎障害による薬剤調整	宇田篤史, 西岡達也	144
	----- 腎機能の評価について		

Case 5	不要と考えられる経口鉄剤の中止	木村丈司, 西岡達也	151
	----- 貧血の鑑別		

Case 6	シクロスポリンとNSAIDs併用による 腎機能障害	木村丈司, 西岡達也	155
--------	------------------------------	------------	-----

Case 7	適切な治療期間を超過したワルファリンの中止	木村丈司, 西岡達也	158
--------	-----------------------	------------	-----

## 第6章 在宅・施設入居者の多剤併用への対応

恩田光子, 的場俊哉

はじめに	164
------	-----

Case 1	長期間漫然と薬剤投与されていた症例	168
--------	-------------------	-----

Case 2	処方意図不明な薬剤が複数投与されていた症例	172
--------	-----------------------	-----

Case 3	患者からの情報収集が困難な症例	176
Case 4	多数の併存疾患をもつ患者の薬剤調整	180
Case 5	カテーテル交換時の介護抵抗が問題となった症例	186

## 第7章

## 医師視点でみた多剤併用

宮田靖志

はじめに	192	
Case 1	患者の全般的な管理を行う主治医がない症例	197
Case 2	慢性症状の治療に難渋し、多剤併用となった症例	205
Case 3	一度副作用が出た薬を再使用して有害事象を生じた症例	210
Case 4	医学的説明のつかない身体症状で多剤併用となった患者	215
Case 5	薬剤を自己調整し、指示どおり内服していなかった症例	220
Case 6	慢性疼痛の治療に難渋している症例	228
Case 7	処方意図のはっきりしない薬剤の長期漫然投与	234
	----- 抗血小板薬と抗凝固薬	
	----- NOAC	
Case 8	腎機能低下患者へのエビデンスのない薬剤の漫然投与	241
索引	247	